

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>



注意

- 柱埋込み時にはレベル孔を完全に塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。
- 柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。腐食の原因になります。
- 現場で金具や連結材を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- ケガ防止の為、キャップ・カバーは必ず取付けてください。
- 柱芯から本体ジョイント部までの間隔は210mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。

<基礎工事について>



注意

- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

■梱包明細書

1 支柱

名称	略図	員数
支柱		1
注意シール	—	1

2 胴縁受け金具セット(T-14,18共通)

名称	略図	員数
上部胴縁受け金具		1
下部ブラケット		4
同縁連結材		5
押え竹連結カバー		6
2-1-①φ4×20バインドタッピンネジ2種		1
2-2-②φ4×12トラスタッピンネジ1種		14
2-3-③φ4×13バインドピアスネジ		11
取付説明書	—	1
取扱説明書	—	1

3 胴縁セット

名称	略図	員数	
		2本入	3本入
胴縁		2	3

4 押え竹セット

名称	略図	員数	
		2本入	3本入
押え竹		2	3
シュロ縄10m		2	3
4-1-①φ4×13バインドピアスネジ		24	24
4-2-②φ4×50バインドピアスネジ		12	19

5 端部側枠セット

名称	略図	員数
端部側枠		2
5-1-①φ4×12トラスタッピンネジ1種		40

6 建仁寺垣ボードセット

名称	略図	員数
建仁寺ボードA		2

7 端部カバーセット

名称	略図	員数
端部カバー		1
固定金具1		1
固定金具2		2
側枠上キャップ		1
7-1-①φ4×13バインドピアスネジ		5
7-2-②φ4×10サラタッピンネジ3種 D=6		1

8 コーナーカバーセット

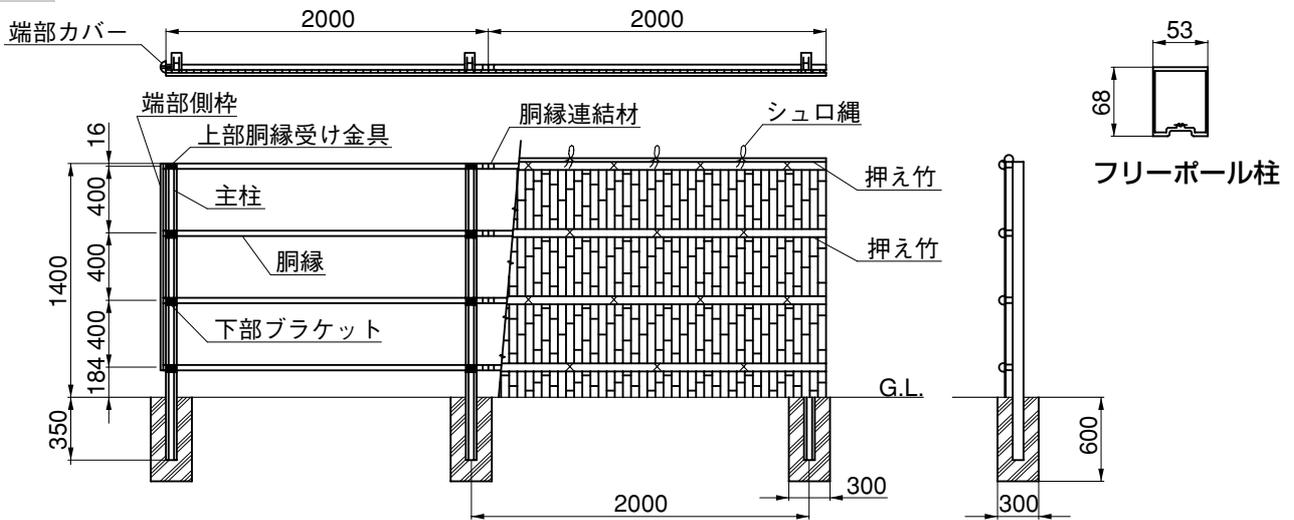
名称	略図	員数
コーナー部材		1
コーナーカバー		1
側枠受け金具1		1
側枠受け金具2		1
側枠受け金具3		3
側枠上キャップ		2
孔隠しシール		5
8-1-①φ4×16トラスタッピンネジ1種		2
8-2-②φ4×10トラスタッピンネジ3種		12
8-3-③M4×30ナベ小ネジ		5
8-4-④M4×50ナベ小ネジ		5
8-5-⑤M4×70ナベ小ネジ		5
8-6-⑥φ4×13バインドピアスネジ		2

9 押え竹端部カバーキャップセット

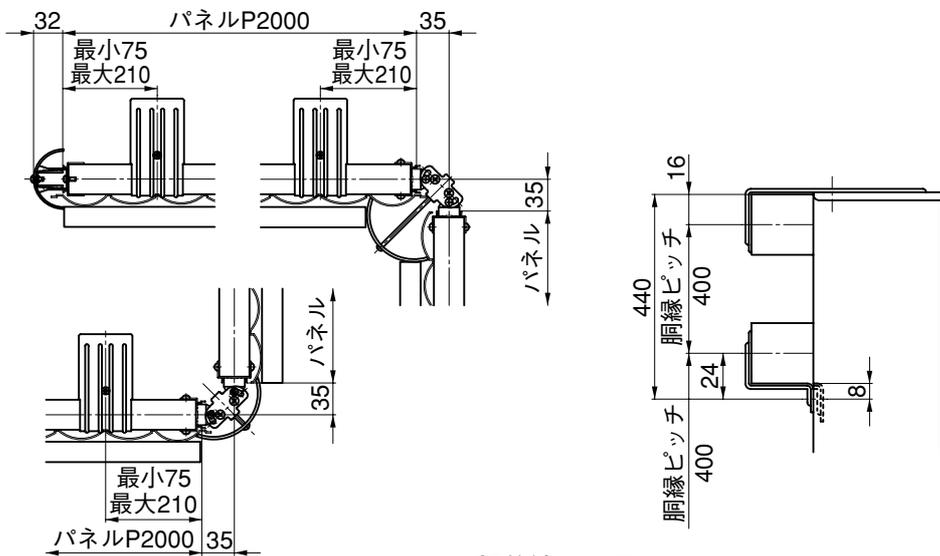
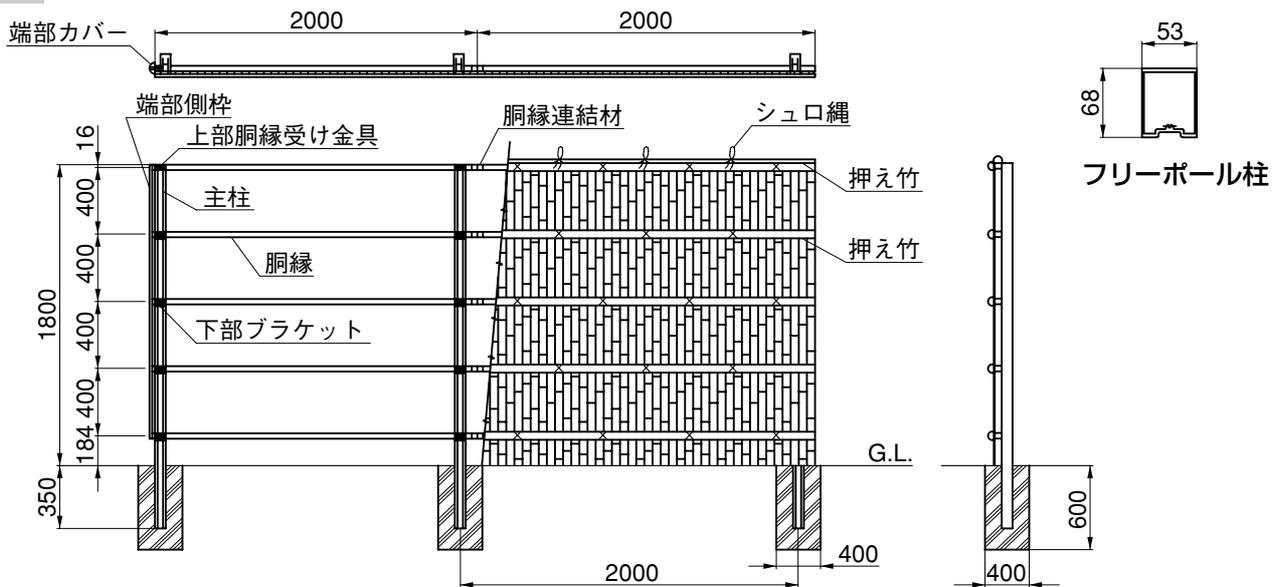
名称	略図	員数
端部押え竹キャップ		1
9-1-①φ4×13バインドピアスネジ		1

1. 基本寸法および施工図

1-1 T-14サイズ



1-2 T-18サイズ



コーナー部分納まり図

2. 胴縁・端部側枠の組付け

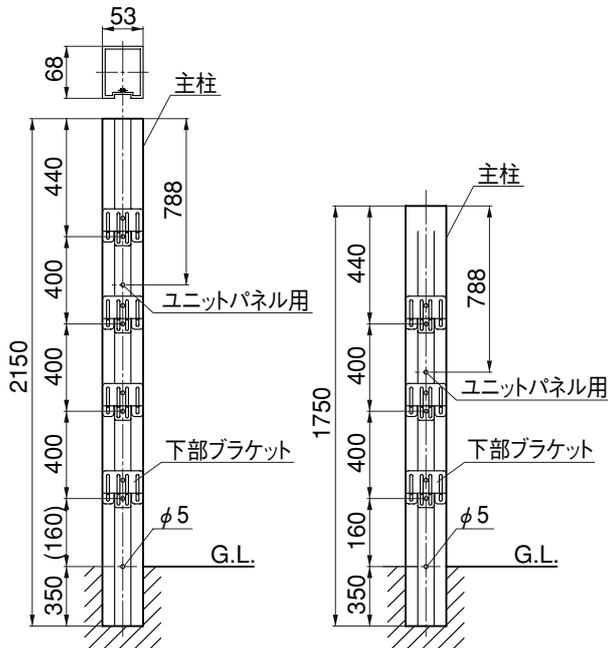
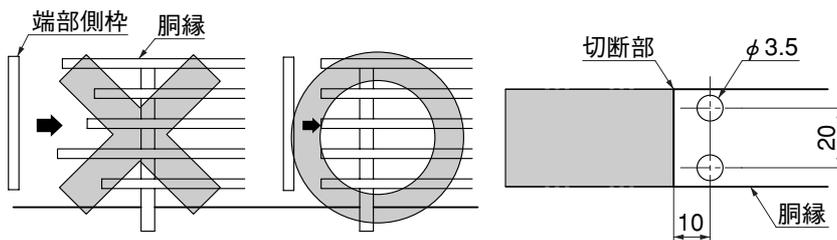


図2-1 T-18サイズ

図2-2 T-14サイズ



補足

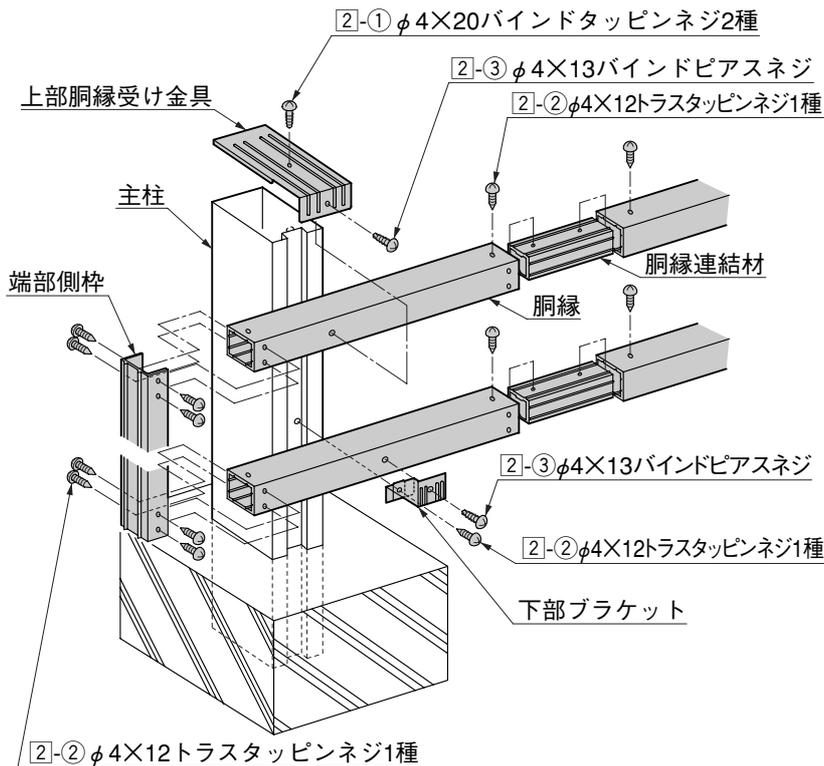
- フリーポールタイプの柱は、ユニットパネル用と組立用が兼用になっています。

ポイント

- 側枠を取付けるため、胴縁はそろえて柱に固定してください。

ポイント

- 現場にて胴縁を切断する場合は、端部に端部側枠取付孔(φ3.5)の加工をしてください。



- ① 主柱に下部ブラケットを②-②で固定してください。
- ② 胴縁を下部ブラケットにのせ②-③で固定してください。
- ③ 柱に上部胴縁受け金具をのせ②-①で固定してください。
- ④ 胴縁を上部胴縁受け金具にさし込んで②-③で固定してください。
- ⑤ 胴縁と胴縁は胴縁連結材を②-②で固定し、連結してください。
- ⑥ 胴縁に端部側枠を②-②で固定してください。

3. ボードの取付け

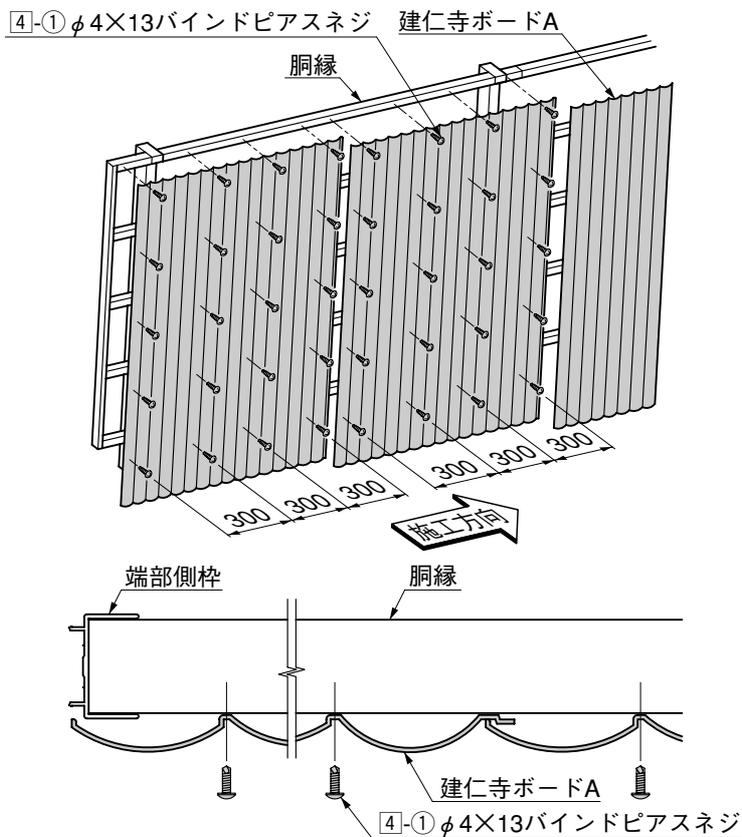


図3-1 建仁寺ボードA固定位置

① 図3-1、図3-2を参照して、建仁寺ボードAを胴縁へ4-1で固定してください。

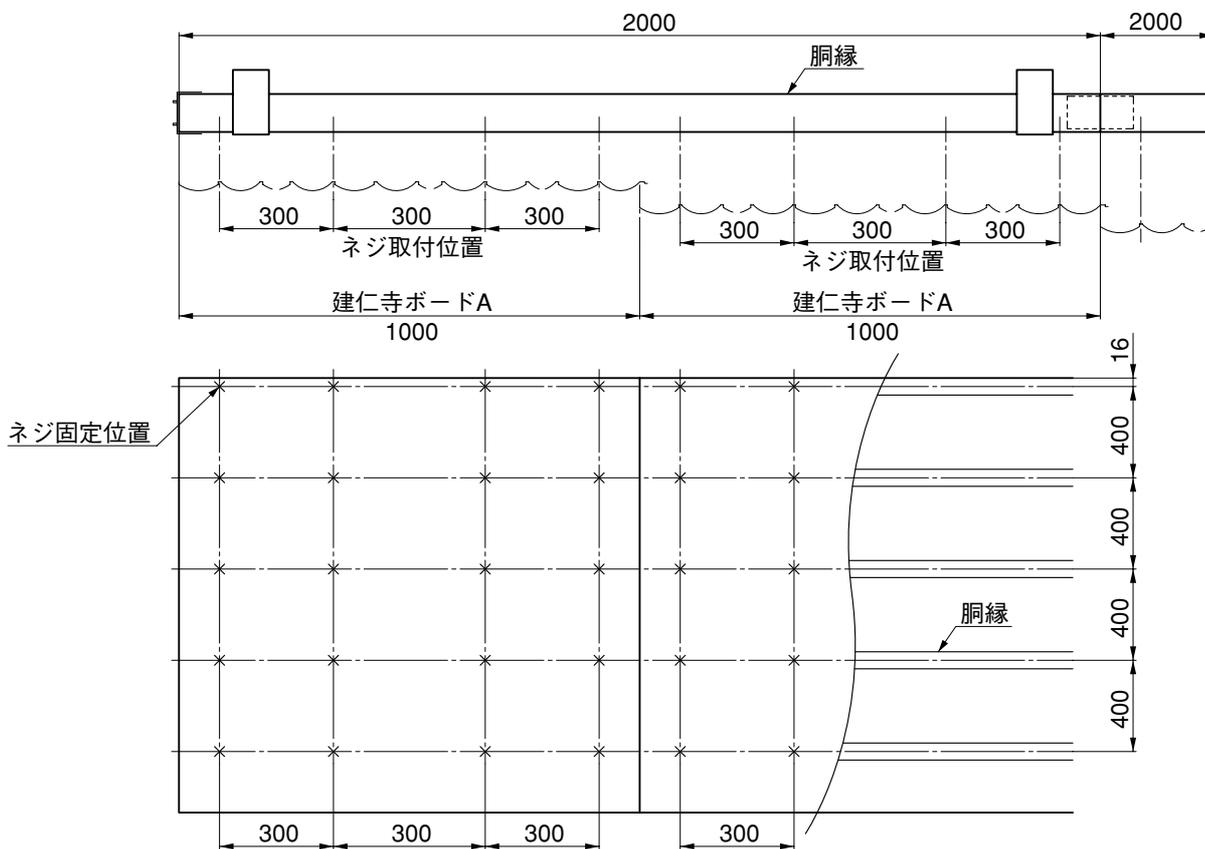


図3-2

3. つづき

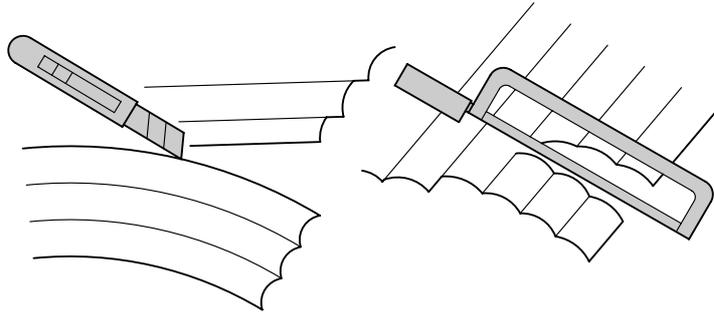


図3-1

ポイント

- 建仁寺ボードAを現場にて幅詰めする場合は、ノコギリやカッターで切断加工して下さい。(図3-1参照)

注意

- ケガ防止のため、切断部は必ずバリ取りを行い、鋭利な角部は丸めてください。

4. 押え竹、端部カバーの取付け

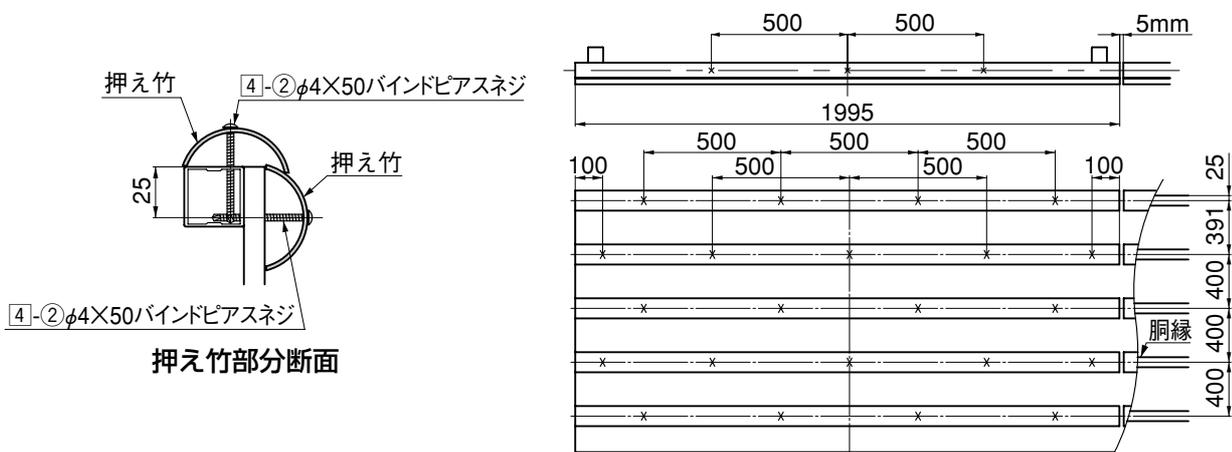
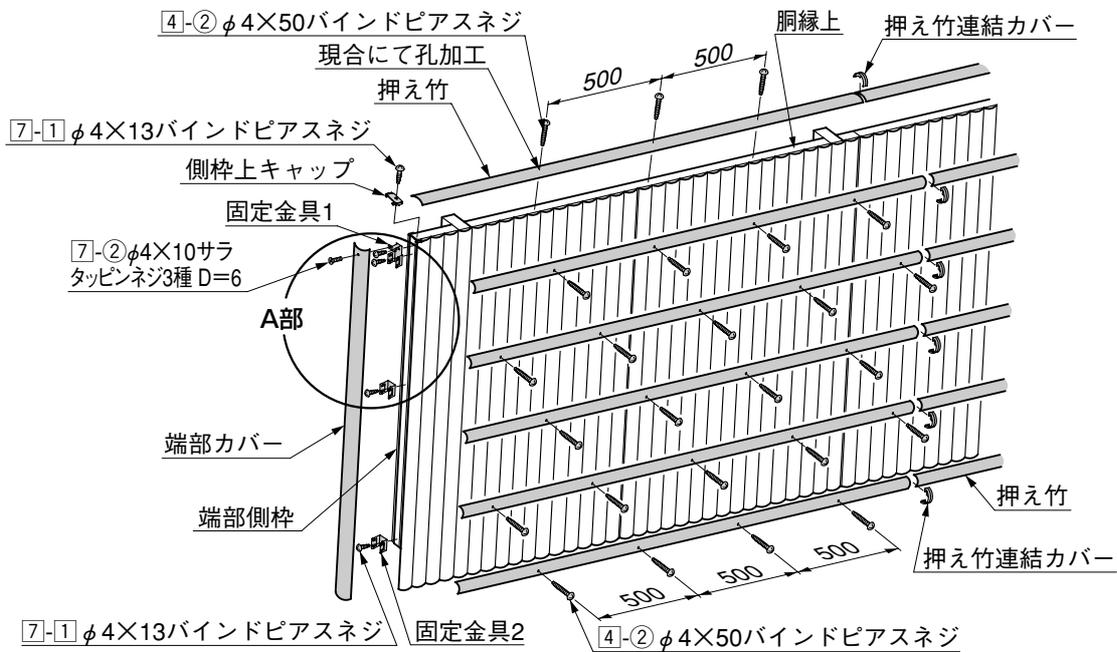


図4-1 押え竹固定位置

- 1 押え竹を4-2で胴縁に固定してください。

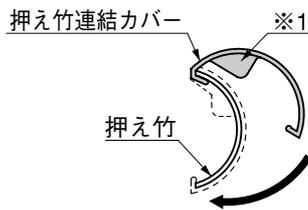


図4-2 押え竹連結カバーの差込み

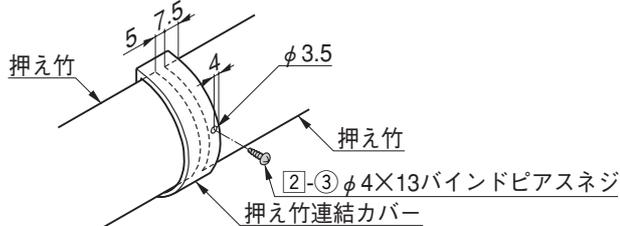


図4-3 押え竹連結カバーの取付け

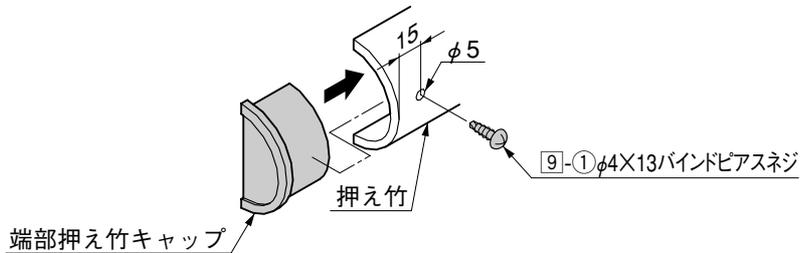


図4-4 端部押え竹キャップの取付け

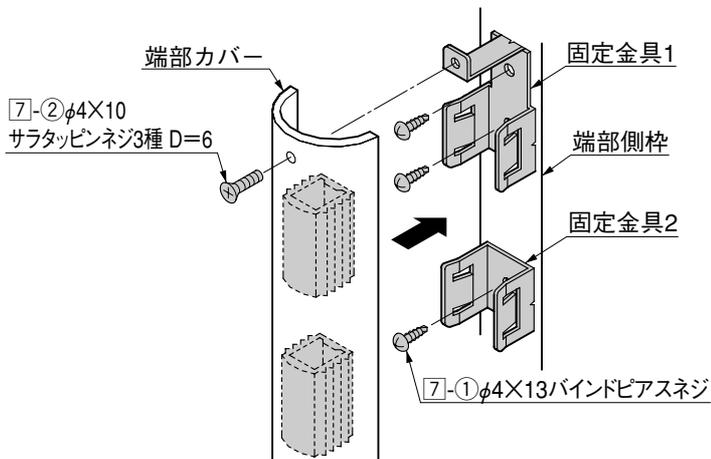


図4-5 A部詳細図

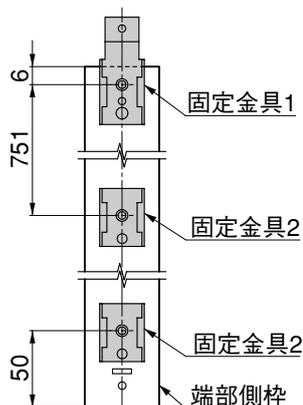


図4-6 固定金具取付け位置

- 押え竹の連結部に押え竹連結カバーを差込んでください。(図4-2参照)

補足

- 突起部(※1)を押え竹のつなぎ目に差込んでください。

- 押え竹の端部から7.5mmの位置に押え竹連結カバーを合わせ、[2]-③で固定してください。(図4-3参照)

- 端部押え竹キャップを取付ける場合は、押え竹に[9]-①で固定してください。(図4-4参照)

- 端部側枠に、固定金具1、固定金具2を[7]-①で取付けてください。端部カバーを固定金具1に[7]-②で取付け、はめ込んでください。(図4-5、図4-6参照)

4. つづき

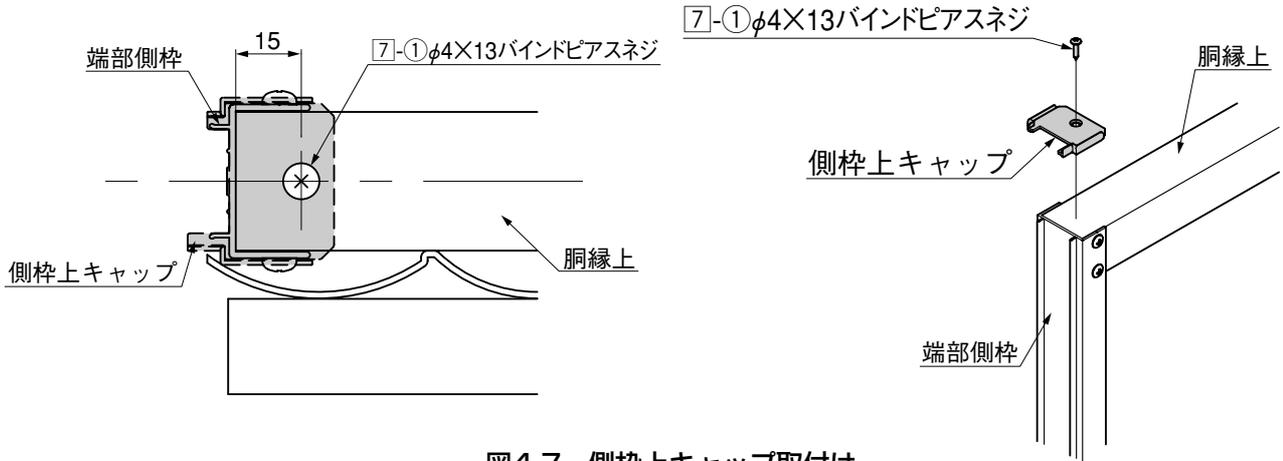


図4-7 側枠上キャップ取付け

- ⑥ 端部側枠に側枠上キャップをかぶせ、**7-1**で胴縁上に取り付けてください。(図4-7参照)

5. コーナー部材の取付け

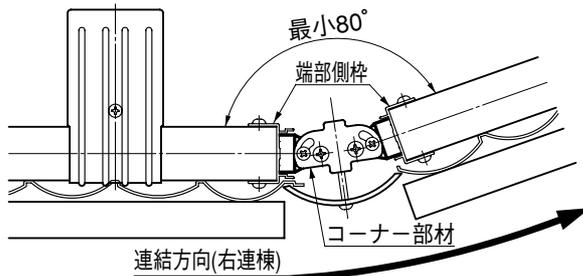


図5-1 出隅

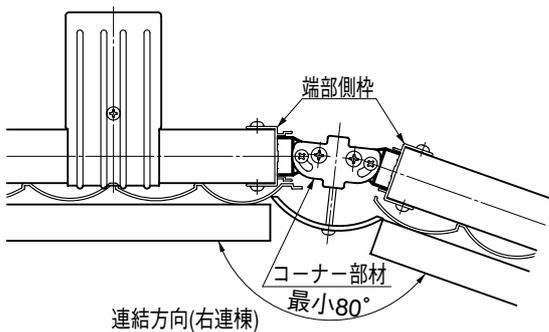


図5-2 入隅

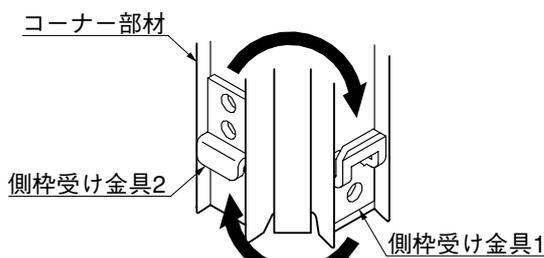


図5-3

- ① 図5-1、図5-2を参照してコーナー部材の向きを決めてください。

補足

- コーナー部材の金具は図5-2の場合に合わせてセットされています。

ポイント

- 図5-1の場合、または左連棟のときのみ側枠受け金具の位置を交換してください。(図5-3参照)

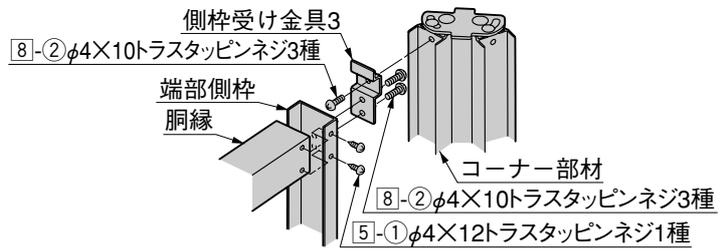
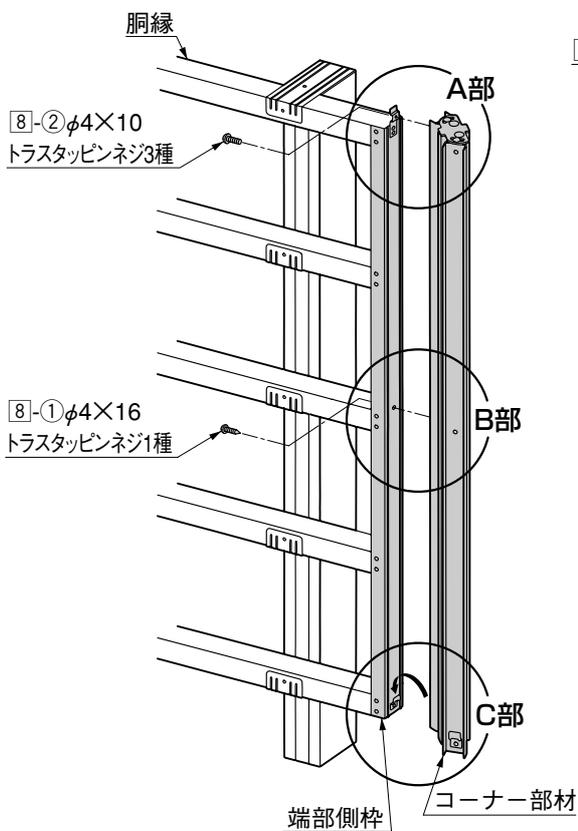


図5-4 A部詳細

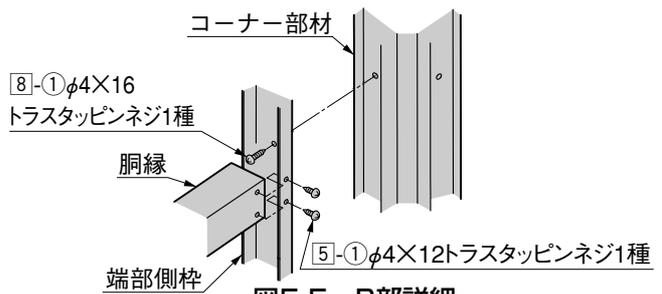


図5-5 B部詳細

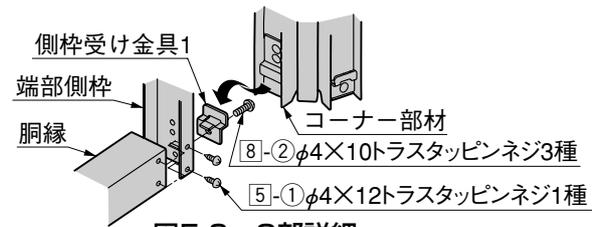


図5-6 C部詳細

- ② 胴縁に端部側枠を 5-1 で取付けてください。(図5-4、図5-5、図5-6参照)
- ③ 端部側枠に側枠受け金具1, 側枠受け金具3を 8-2 で取付けて、コーナー部材をのせてください。(図5-4、図5-6参照)
- ④ 端部側枠とコーナー部材を、8-1と8-2で連結してください。(図5-4、図5-5参照)

5. つづき

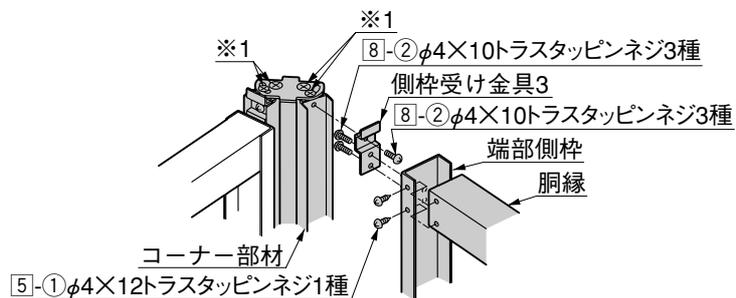
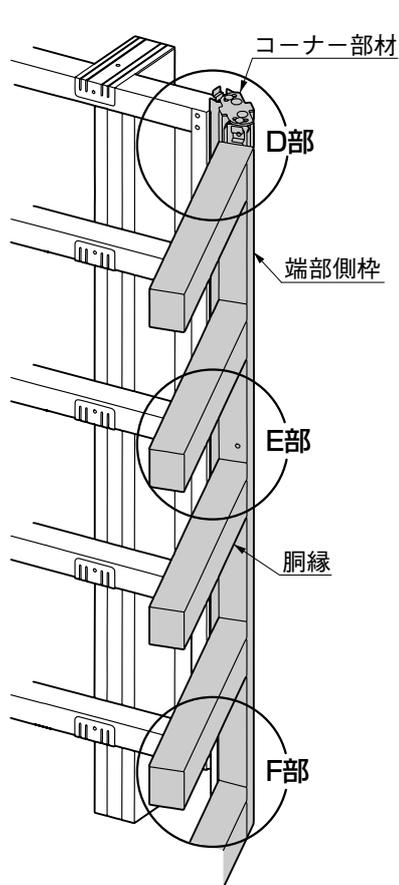


図5-7 D部詳細

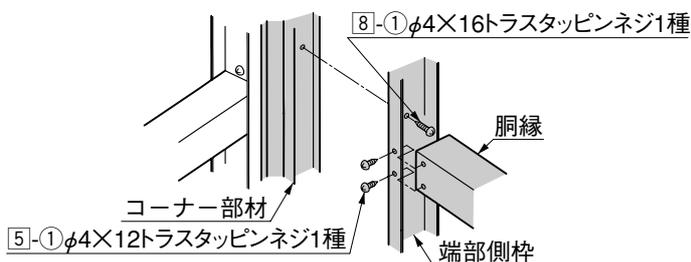


図5-8 E部詳細

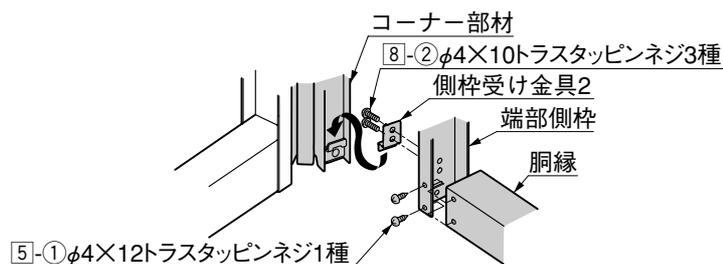


図5-9 F部詳細

- ⑤ コーナー部材の角度調整ができるように、上部のネジ(※1)を軽くゆるめてください。(図5-7参照)

ポイント

- ネジをはずすと金具がはずれてしまいますので注意してください。
- ⑥ 端部側枠に側枠受け金具2, 側枠受け金具3を8-2で取付けてください。(図5-7、図5-9参照)
- ⑦ コーナー部材に端部側枠を差込み、8-1と8-2で固定してください。(図5-7、図5-8参照)
- ⑧ 端部側枠に胴縁を5-1で取付けてください。(図5-7、図5-8、図5-9参照)

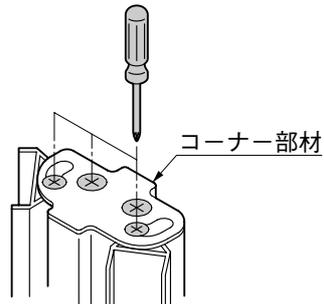


図5-10

- 9 コーナー角度セット後、コーナー部材上部のネジを締め込んで下さい。(図5-10参照)

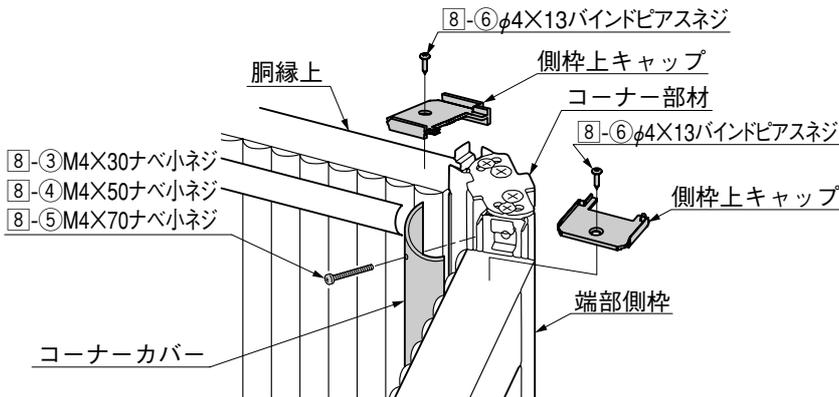


図5-11

- 10 下表を参考にして8-3,8-4,8-5,のいずれかを選び、コーナーカバーを取付けてください。(図5-11参照)

	8-3	8-4	8-5
出隅(図5-1)	80°~160°	160°~180°	-
入隅(図5-2)	-	120°~180°	80°~120°

補足

- 角度により使用しないネジは捨ててください。

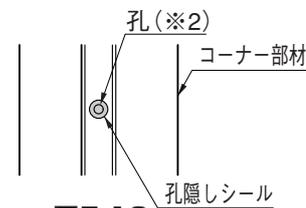


図5-12

- 11 コーナー部材のコーナーカバーを取付けない側の孔(※2)に孔隠しシールを貼り付けて、孔をふさいでください。(図5-12参照)

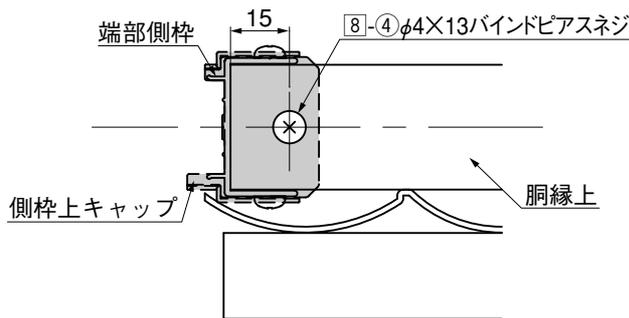


図5-13

- 12 端部側枠に側枠上キャップをかぶせ、8-6で胴縁上に取付けてください。(図5-11、図5-13参照)

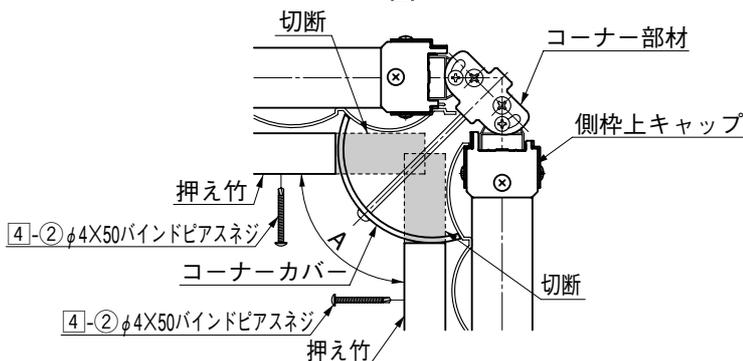


図5-14

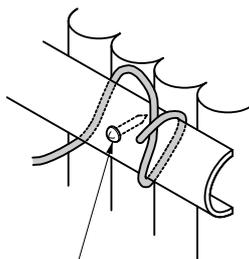
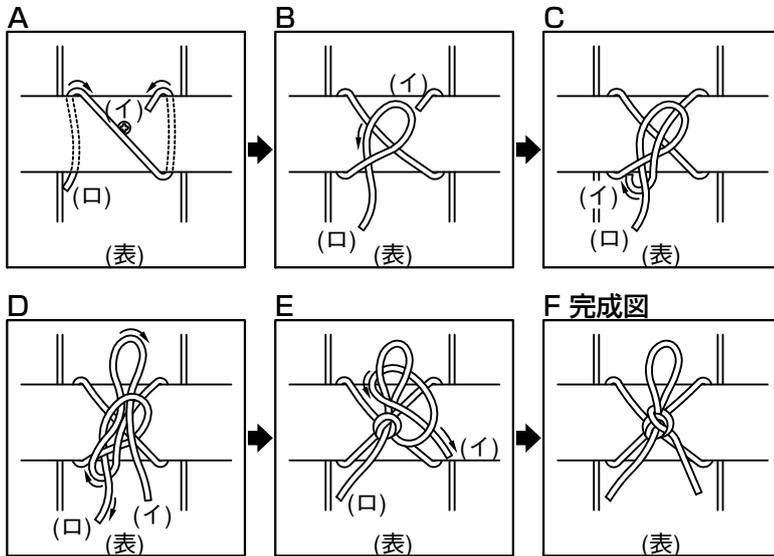
- 13 押え竹はコーナーカバーの切断部を切断して、4-2で取付けてください。(図5-14参照)

ポイント

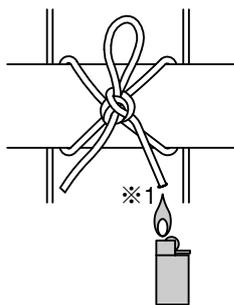
- Aが180°以上の場合は、切断の必要はありません。
- 押え竹の取付け方は、「4.押え竹、端部カバーの取付け」を参照してください。

6. シュロ縄のしぼり方

6-1 押え竹の場合



押え竹組付ネジ



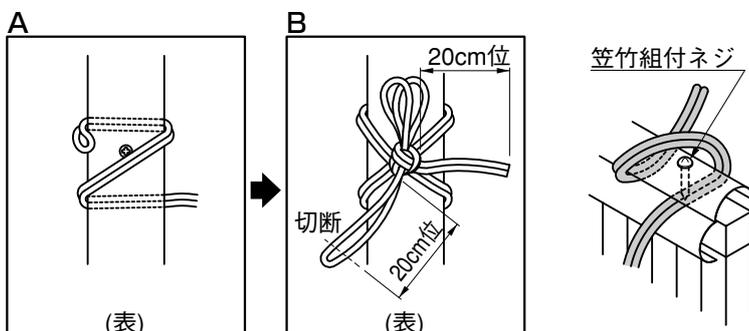
※1

- ❶ A図のように、シュロ縄を押え竹に巻き付けてください。
- ❷ B図のように、(口)の部分で輪を作り C図のように(イ)を通してください。
- ❸ (イ)をもう一度D図のように輪の中に通して、(口)を引いてください。
- ❹ E図のように、D図で作った輪に(イ)を巻き付けて、←方向に引いてください。これで完成です。

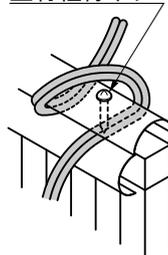
ポイント

- シュロ縄は、押え竹組付ネジの位置に合わせて取付けてください。
- 縄をしぼった後、先端をライター等でとかしてほどけないようにしてください。(とかしすぎに注意してください。)(※1)

6-2 笠竹の場合



笠竹組付ネジ



- ❶ A図のように、シュロ縄を2重にして笠竹に巻き付けてください。
- ❷ しぼり方は、押え竹の場合と同様の手順でしぼってください。
- ❸ 完成後、B図のように(イ)の先端を切断してください。

ポイント

- シュロ縄は、笠竹組付ネジの位置に合わせて取付けてください。

取説コード

C179

BZW602230D
97-01A

201607G_1049